

DUCATICUP 2006

車両規定

1. 出場車両

1995年以降に生産された DUCATI 市販車両に限定。(レース用に生産された車両は除く)

*Monster、916 モデルに関しては上記以前の生産車両であっても参加が認められる。SS に関しては95年にラインナップされていたモデル(現行モデルの1つ前のキャブレター最終モデル)に関してはそれ以前の生産車両でも参加できる。

2. 改造の限度

車両は下記に示されている項目の条件に適合していること。下記の項目以外の部分については各大会の NT 車両規定(ノーマルツインクラス)に準ずる。

3. 変更・改造の定義

変更・改造は基本的にボルトオンでの脱着を前提とする。ポート研磨、軽量化のための切削、補強メンバー等の溶接、不要な部分の切断等の加工は不可。

I. エンジン補機類

1) 燃料供給系

CPU を調整する後付けコントローラーの装着は禁止。純正のインジェクションシステムに割り込ませて、調整するコントローラーは使用禁止。キャブレターの変更は可

2) 吸気系

エアークリーナーカバーの改造は可。エアクリーナーボックスの変更・改造・取り外し及びエアークリーナーカバーの取り外しは不可。

3) クラッチ

クラッチマスター、クラッチリリースシリンダ、クラッチシステムは変更可

II. 車体

1) フレーム

ゼッケンプレート、メーター等の、取り付けステーの追加は可、フレームへの溶接によるステー類の追加及びフレームに溶接されているステー類のカット等、フレームの加工は不可。(フレームの範囲の解釈は MFJ 規定に順ずる)

2) ブレーキ

フロント・リアブレーキの変更可

3) 排気管

エキゾーストシステムは各大会の騒音規定を満たすものであれば変更可

4) ホイール

変更可

5) フロント・リアサスペンション

フロントサスペンション・リアサスペンションユニット本体・リンクの変更は可

6) タイヤ

一般市販されていて通常の販売ルートで購入できる BRIDGESTONE 製一般公道用オンロードタイヤのみ使用可。スリックタイヤ、磨耗限度を超えたタイヤの使用およびタイヤへのグルーピング、カッティング等の加工は不可。WET 時に限り、レーシングレインタイヤの使用が認められる。

7) フェンダー

フロント・リア共に形状変更不可。(MFJ 規定により、フロントフェンダーの取り外しは不可。)

8) カウリング・シートカウル

カウリング・シートカウルは、その材質を変更することができるが形状を変更することは認められない。但し、ゼッケンを取り付けのための、レース用フロントカウル及びシングルシートカウルへの変更は可この場合、そのモデルのオリジナルと形状が同じ物でなければならない。MONSTER ヘフロントカウルの装着は可。

4. 安全規定

下記に示されている安全部品の装着が義務付けられる。

1) アンダーカウル

エンジンの破損または転倒時にそのエンジンにしようされるエンジンオイルおよび冷却水総量の最低半分を保持できるアンダーカウルを装着しなければならない。このための概観変更は認められる。

アンダーカウルには水抜き用の穴(最大 25mm 径・2 個まで)を設け、ドライコンディション時には閉じられウェットコンディション時には開放されなければならない。

2) リヤ・スプロケットカバー

ライダーの足がチェーンに巻き込まれないようリヤ・スプロケットカバー*を取り付けなければならない。

*リヤ・スプロケットカバーについては MFJ 国内競技規則記載のロードレース基本仕様を参照のこと。

5. 規定の範囲

上記に示された以外の規定については各大会の主催者発行の車両規定、シングル&ツインレース MFJ 承認競技会・共通車両規則書に準ずる。